



私たちのまち、港区。
知ってるようで知らないこと
もっと知りたいこと
ありませんか。
このコーナーでは港区の歴史や
名所をすこし掘り下げて
紹介します。

天保山のおはなし 第一話

標高4.53メートル!

日本一低い山で有名な天保山の歴史を
たどってみましょう。



浪花百景「天保山」

時代は江戸の頃へとさかのぼります。

安治川の開削が行われた後、安治川口には新しく港が造られました。
全国各地から商いにやってくる船が停泊し、天下の台所・大坂の水運の
拠点となりました。しかし、当時の大坂の川は上流からの土砂が流れ込み、
水運の確保と洪水を防止するため頻繁に川ざらえを行う必要がありました。



浪華勝概帖「天保山下川凌」

天保2年(1831年)から2年をかけて行われた安
治川のおおがかりな川ざらえには、周辺の町や市
場からたくさんの人が動員されました。「やるなら
楽しく」と一大イベント化され、町ごとにそろいの衣
装を作ったり、飾りたてた船を出したり、太鼓やお
囃子で盛りあげたりと、お祭り気分で作業が行わ
れたそうです。このときの土砂を積み上げて誕生
したのが高さ約20メートル・周囲約200メートル
の「天保山」です。海岸沿いには高灯籠(灯台)が

設けられるなど安治川に入る船の目印とされたことから「目標(めじるし)
山」とも呼ばれました。



本朝名所「大坂天保山」(初代 歌川広重)

天保山を上から見ると裾地が亀の甲羅の
ような形をしていました。中国の伝説にある
「亀の背中にのって海を漂う聖なる山、蓬莱山」
に見立てて作られたようです。

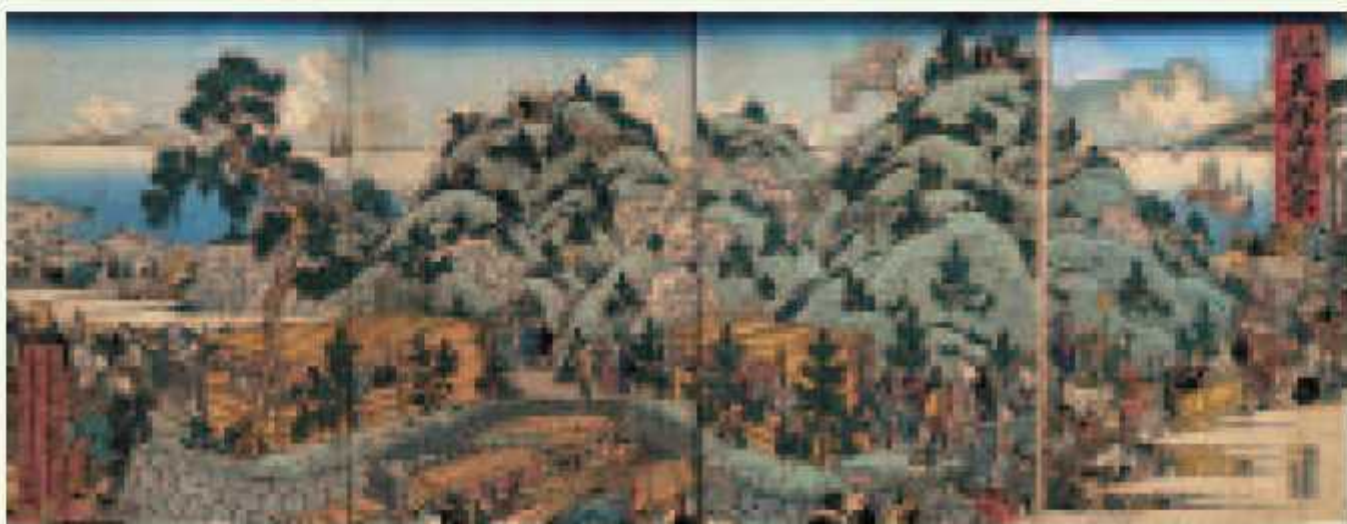
頂上からは生駒・金剛・比叡などの山々や淡
路島・四国を望
むことができ松

や桜が植えられて景勝地として整備されま
した。春はお花見、夏は舟遊び、秋はお月見、
お酒を出す茶店街もあり「浪花の新名所」
としてにぎわったそうです。



天保山風景図

天保山公園の入り口両脇の防潮堤防には、当時の天保山の情景を描いた



浪花天保山風景(初代 歌川貞升) (大阪城天守閣蔵)

浮世絵が陶
板に写されて
はめ込まれて
います。登頂
ついでに観賞
してみてください。